

民全体の大きな喜び

ルカの福音書 2 章 1-20 節

はじめに

「アドベント（待降節）」も三週目を迎えました。一週目は「ヨセフの信仰」を学び、二週目は「マリアの信仰」を学んできました。三週目の今日は、「羊飼いたちの信仰」について学んでいきたいと思います。

今日の聖書箇所には、イエス様の誕生の出来事が書かれていますが、イエス様の誕生の出来事には三つの特徴があります。一つは、イエス様は「ベツレヘム」という町で生まれたということ。二つ目は、イエス様は「飼葉桶」で生まれたということ。そして三つ目は、イエス様の誕生の知らせは、まず「羊飼いたち」に知らされたということです。

1. 「ベツレヘム」で生まれたイエス

イエス様は、「ベツレヘム」という「**ダビデの町**」でお生まれになりました。母マリアも夫のヨセフも、「**ガリラヤの町**」である「**ナザレ**」で暮らしていました。「ナザレ」から「ベツレヘム」までは、大人の足でだいたい3-4日かかるほど離れていました。

イエス様は、「ナザレのイエス」と呼ばれていましたから、「ナザレ」で育ったのですが、生まれたのは「ベツレヘム」であったのです。それは、1節にあるように、「**全世界の住民登録をせよという勅令が、皇帝アウグストから出た**」からです。

「皇帝アウグスト」は、ローマ皇帝のことですが、当時はローマ帝国が全世界を支配していました。そのローマ皇帝が、ローマ国内の全住民に住民登録をせよという命令を出したのです。それは、税金や徴兵のためであったようです。しかもこの住民登録は、自分が今住んでいる町で登録するのではなく、自分の先祖の町で登録しなければならないというものでした。

ヨセフは、ダビデの家系に属していたので、ダビデの町「ベツレヘム」で住民登録をしなければならなかったのです。この時すでに、ヨセフとマリアは婚約し、正式な夫婦だったので、ヨセフは妊娠中のマリアも連れて「ベツレヘム」に行かなければならなかったのです。そして、その「ベツレヘム」で住民登録をしている間に、マリアに陣痛が起きてイエス様が生まれたのです。ですから、もしこの住民登録がなければ、イエス様は「ナザレ」で生まれているはずだったのです。

しかしイエス様が「ベツレヘム」で生まれることは、神様の御計画によるものだったのです。ヨハネ7:42には、「**キリストはダビデの子孫から、ダビデがいた村、ベツレヘムから出ると、聖書は言っている**」とあります。旧約聖書では、救い主キリストは「ダビデの子孫」であり、

「ベツレヘム」で生まれると預言されていたのです（ミカ5：2）。

救い主キリストはなぜ「ベツレヘム」で生まれなければならなかったのでしょうか。「ベツレヘム」はダビデが生まれた町であり、救い主キリストは「ダビデの子孫」であるので、救い主キリストは「ベツレヘム」で生まれなければならなかったのです。

イエス様が「ベツレヘム」で生まれたのは、イエス様こそ「ダビデの子孫」である救い主キリストであることを示すためであったのです。

この神様の御計画と預言が実現するために、神様は皇帝アウグストを用いられたのです。皇帝アウグストは、当時の全世界を支配していた人物です。しかし神様は、その皇帝アウグストさえも、御自身の御計画と預言を実現するための「道具」とされたのです。皇帝アウグストでさえ、神様の御計画には逆らえないのです。皇帝アウグストでさえ、神様の御計画には従うほかないのです。もちろん皇帝アウグストは、神様の御計画に従おうとして住民登録の勅令を出したわけではありません。彼は無意識のうちに、神様の御計画に従わせられていたのです。神様は、皇帝アウグストさえ従わせられる方です。神様こそ、王の王であり、主の主であり、全世界を支配し、御自身の御計画に従って歴史を導いておられる方なのです。

2. 「飼葉桶」で生まれたイエス

その偉大な神様が、人の姿を取られ、「飼葉桶」で生まれたというのが、クリスマスの出来事なのです。皇帝アウグストさえ逆らえないお方が、人の姿を取られただけでなく、家畜の中で生まれたというのです。全世界を支配し歴史を導いておられる神様が、人の姿を取られたなら、王宮で生まれても良さそうなものですが、人が生まれる場所ではない、家畜が生まれる場所でお生まれになったというのです。

イエス様がお生まれになったのは、「飼葉桶」でした。ではイエス様が死なれたのはどこだったのでしょうか。それは「十字架」です。イエス様は、「飼葉桶」で生まれ、「十字架」で死なれたのです。「十字架」は、犯罪者が張り付けにされるものです。イエス様は、家畜のように生まれ、犯罪者のように死なれたのです。それが、神であるイエス様の生涯でした。

使徒パウロは、このように言いました。「**主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです**」(IIコリント8：9)。神様は全世界を支配し歴史を導いておられる方です。そのお方が、私たちのために貧しくなれたのです。「飼葉桶」で生まれ、「十字架」で死なれたのです。それは、私たちが豊かにするためです。「飼葉桶」で生まれたのも、「十字架」で死なれたのも、私たちのためです。

イエス様は、私たちの罪を償うために「十字架」で死なれました。私たちの代わりに神様の怒りと呪いを受け、私たちと神様を和解させ、私たちに永遠の命と救いを与えるためです。

イエス様は、私たちのために「飼葉桶」で生まれました。「飼葉桶」で生まれたイエス様は、私たちのような「土の器」の中にも住んでくださいます。私たちのような罪深く、弱くもろい者たちの中にも、イエス様は住んでくださるのです。

パウロは、イエス様を「土の器」に入れる者をこのように言っています。「**私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方に暮れますが、行き詰まることはありません。迫害されますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません**」(IIコリント 4:8-9)。私たちは人生の中で、四方八方から苦しめられることがあります。また途方に暮れることもあります。迫害されることもあります。倒れてしまうこともあります。しかし、イエス様が私たちの中に住んでくださるならば、私たちは窮することも、行き詰まることも、見捨てられることも、滅びることもないと言うのです。この方は、皇帝アウグストさえ逆らえない、全世界を支配し歴史を導いておられる偉大な神様だからです。

イエス様は、私たちを罪から救うために十字架で死なれました。そのことを信じる時に、イエス様は私たちの中に住んでくださるのです。私たちは罪深く、弱くもろい「土の器」ですが、「飼葉桶」で生まれたイエス様は、私たちのような者の中にも住んでくださるのです。そして私たちの人生を支えてくださるのです。そのことを私たちに示すために、イエス様は「飼葉桶」で生まれたのではないのでしょうか。

3. イエスの誕生を最初に知らされた「羊飼いたち」

さて、救い主キリストが「ベツレヘム」で生まれたという出来事は、まず「羊飼いたち」に知らされました。イエス様が生まれた日、羊飼いたちが野宿をしながら夜番をしていた時、突然、主の使いが現れて周りを照らし、「民全体のための大きな喜び」である救い主キリストの誕生の出来事を知らせたのです。

なぜイエス様の誕生の出来事は、まず「羊飼いたち」に知らされたのでしょうか。それは、イエス様こそ「ダビデの子孫」であることを示すためではないのでしょうか。ダビデはもともと「羊飼い」でした。イエス様の誕生の知らせが、まず「羊飼いたち」に知らされることによって、イエス様こそまさに「ダビデの子孫」であることを示されたのではないのでしょうか。

イエス様は、ダビデが生まれた町「ベツレヘム」で生まれ、ダビデの職業であった「羊飼いたち」に誕生の知らせが告げられることによって、イエス様こそまさに、「ダビデの子孫」である救い主キリストであることを示そうとされたのではないのでしょうか。

「羊飼いたち」は、この出来事を「**主が私たちに知らせてくださった出来事**」として、受け止めました。そして、それが本当かどうか確かめるために、「ベツレヘム」まで行って、「飼葉桶」に寝ておられるみどりごを頼りに捜しに出かけたのです。そしてマリアとヨセフに、「主が知らせてくださったこと」を伝えたのです。

「羊飼いたち」は、救い主キリストの誕生のメッセージを一番最初に伝えられました。それは、「民全体に与えられる大きな喜び」のメッセージでした。つまり全世界に大きな喜びを与えるメッセージでした。そのメッセージが、まず「羊飼いたち」に伝えられ、「羊飼いたち」に委ねられたのです。そして、「羊飼いたち」を通して、全世界に大きな喜びをもたらそうと神様はされたのです。

「羊飼いたち」は、このメッセージを聞き流すこともできたはずですが、しかし「羊飼いた

ち」は、このメッセージを「主が私たちに知らせてくださった」こととして、「信仰」によって受け止めて、その確信を強めるために、実際に「ベツレヘム」のイエス様のもとに行き、まずマリアとヨセフに、この委ねられたメッセージを伝えたのです。そして、そのメッセージが今や、二千年の時を経て私たちが住んでいる日本にまで届けられ、私たちに大きな喜びをもたらしているのです。いや私たちだけでなく世界中に大きな喜びをもたらし、世界中でクリスマスが祝われるようになったのです。

「羊飼いたち」は、最初の福音の伝道者となったのです。彼らは、神様から与えられた福音のメッセージを「信仰」によって受け止め、その確信を強め、人々に知らせ、今や世界中に大きな喜びをもたらしたのです。

全世界に大きな喜びをもたらす福音のメッセージは、「羊飼いたち」に委ねられます。まず夜番をしていた「羊飼いたち」に委ねられ、真の「羊飼い」であるイエス様によって宣べ伝えられていきます。そしてイエス様から「使徒たち」に、「わたしの羊を飼いなさい」(ヨハネ 21:17)と委ねられ、「使徒たち」から教会の牧会者である「牧師たち」に委ねられています。

全世界に大きな喜びをもたらす福音のメッセージは、いつの時代でも「羊飼いたち」に委ねられているのです。今は教会の「牧師たち」に委ねられています。今は、「牧師たち」の口を通して、教会が全世界に大きな喜びをもたらす福音のメッセージを伝える時なのです。

おわりに

神様は、世界中のどんな支配者よりも偉大な方です。世界を創造され、今も全世界の歴史を導いておられる方です。世界中のどんな支配者も神様の御計画には逆らえず、従うほかありません。神様の御計画と約束は、必ず実現します。

その神様が、私たちを愛し、私たちを豊かにするために人の姿を取り、「飼葉桶」で生まれ、「十字架」で死なれました。それは、私たちの罪を償い、私たちを罪から救うためです。そしてそのことを信じる者の中に、神様御自身が住んでくださり、私たちの人生を支えてくださるためです。

私たち教会は、この福音のメッセージを神様から委ねられています。この福音のメッセージは、全世界に大きな喜びをもたらす力のあるメッセージです。私たちは、そのことを信じなければなりません。

天におられる私たちの父なる神様。

あなたは世界の創造者であり、全世界の歴史を導いておられる偉大な神です。地上のどんな支配者もあなたに逆らうことはできず、従うほかありません。あなたの御計画と約束は、必ず実現します。

その偉大なあなたが、私たちを罪から救い、私たちを支えるために、人の姿を取り、「飼葉桶」で生まれ、「十字架」で死んでくださったことを感謝します。この福音のメッセージは、全世界に大きな喜びをもたらす力があることを信じさせてください。そしてそのメッセ

ージを委ねられた者として、宣べ伝えさせてください。

この祈りを、私たちの救い主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。